

ゆうべつ町



議会だより

62
号

2025 (令和7) 年8月25日

発行/北海道湧別町議会



主な内容

- 1 第2回定例会 (6月)
- 2 審議ピックアップ
- 3 町政を問う
- 4 常任委員会の活動
- 5 あの質問どうなったべ
- 6 議会の活動
- 7 活動支援に感謝

町政を問う!!

議員4名が4件の
一般質問を行いました。

人と自然が輝くオホーツクのまちを目指して

最高の夏の思い出に
【屯田七夕まつり】

議会だよりは町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色のうち、こころいろを使用しています。

教育委員会委員 中川悠一氏の任命に同意

令和7年
第2回定例会



令和7年第2回定例会は6月17日に開会し、令和7年度一般会計・国民健康保険特別会計の補正予算、条例の改正、工事請負契約の締結など、町長から議案等11件、議会から議案等3件が提出されました。

また、4人の議員から一般質問があり、同日に閉会しました。

令和7年度各種会計補正予算

(1万円未満切捨て)

会計名	補正回数	補正額	補正後予算額
一般会計	1回目	8億5,570万円	117億4,270万円
国民健康保険特別会計	1回目	128万円	14億4,901万円

一般会計・国民健康保険特別会計の補正予算がそれぞれ提案され、審議・採決の結果、全会一致で可決しました。

令和7年度補正予算の可決

一般会計補正予算の主な内容

(1万円未満切捨て)

事業名	補正額	内容
定住促進等に要する経費	988万円	【民間賃貸住宅等取得補助】申請件数の増加に伴う追加
地域活性化推進に要する経費	5億2,000万円	【地域総合整備資金貸付】オホーツク湧別バイオガス株式会社が整備するバイオガスプラントの建設費の一部に対する貸付金の追加
農業振興事業に要する経費	2億8,450万円	【穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業補助】湧別町農協が行う小麦施設整備への補助金の追加
上湧別農村環境改善センターに要する経費	383万円	【上湧別農村環境改善センター暖房設備改修工事】多目的ホールの輻射暖房機の故障(1台)に係る取替工事の追加

教育委員会委員の 任命に同意

前任者の退任に伴い、委員の任命に同意を求められ、審議の結果、全会一致で同意しました。

・北兵村一区

中川 悠一氏(新任)

(任期…)

令和7年11月30日まで)

国民健康保険条例の改正

地方税法施行令等の改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額および軽減判定所得基準の見直しに対応するための条例改正が提案され、審議の結果、全会一致で可決しました。

【主な議決案件(要約)】

審議
ピックアップ!

審議結果一覧

Result of Deliberations

令和7年
第2回定例会

(1万円未満切捨て)

報告	令和6年度湧別町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について 令和6年度一般会計予算の3事業が令和7年度に繰り越されたことを報告するもの。	
条例	湧別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 国民健康保険税の課税限度額の引き上げ等を行うため改正するもの。	原案可決
補正予算	令和7年度湧別町一般会計補正予算 1回目の補正で、8億5,570万円を追加して歳入歳出予算の総額を117億4,270万円とするもの。	原案可決
	令和7年度湧別町国民健康保険特別会計補正予算 1回目の補正で、128万円を追加して歳入歳出予算の総額を14億4,901万円とするもの。	原案可決
その他	公営住宅新築工事(緑町団地)請負契約の締結について 公営住宅緑町団地の新築工事(1棟3戸)を株式会社長谷川建設と、9,636万円で締結するもの。	原案可決
	財産の取得について 町道維持管理用ロータリ除雪車1台を、北海道川崎建機株式会社北見支店より6,490万円で取得するもの。	原案可決
	財産の取得について 町営バスとして中型バス1台を、東北海道いすゞ自動車株式会社北見支店より2,145万円で取得するもの。	原案可決
	財産の取得について ごみ収集用の湧別町指定ごみ袋48万枚を、有限会社荻原商店より1,452万円で取得するもの。	原案可決
	財産の取得について 学校用コンピューター機器等の更新として、パーソナルコンピューター等を北海道市町村備荒資金組合より3,905万円で取得するもの。	原案可決
	財産の取得について 湧別高等学校学生寮備品として家具類を有限会社柴田家具店より2,563万円で取得するもの。	原案可決
人事	教育委員会委員の任命について 前任者の退任により、北兵村一区 中川 悠一氏を委員に任命するもの。(新任)	同意
議会	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	原案可決
	議員の派遣について 北海道町村議会議長会主催の議会議員研修会に全議員を派遣するもの。	承認
	閉会中の所管事務調査等の申出 総務厚生常任委員会 1) 湧別町の財政状況と今後の見通しについて 産業文教常任委員会 1) 観光施設(Family 愛 LandYou、水芭蕉群生地木道)の整備状況について 2) 商工業振興事業(愛町購買事業)の実施状況について 議会運営委員会 次期議会の会期日程等議会運営に関する事項及び議長長の諮問に関する事項	承認

意見書を政府行政機関へ提出

以上の意見書を政府行政機関に提出することが提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決されました。



意見書案を読み上げる
協坂産業文教常任委員

協坂議員ほか3人の賛成者から、森林の多面的機能を持続的に発揮させるための森林整備事業や防災・減災予算の確保、森林資源循環利用推進のための優良種苗の安定供給、鳥獣害・病虫害などの森林被害対策、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化などによる道産木材の需要拡大、人材の育成・確保などを求める意見書の提案

●ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

令和7年6月開会の第2回定例会において、4名の議員から一般質問があり、理事者の答弁は次のとおり。(質問と答弁は要約)

一般質問

1 下田 英人 議員

①湧別町の観光事業における現状と課題について

2 関野 一良 議員

①外来野生動物（アライグマ）による農業被害について

3 村川 勝彦 議員

①湧別町内の道路の補修改修について

4 小形 秀和 議員

①公共施設の再配置計画における旧校舎の取扱いについて

ゴールデンウィーク期間中、「ファミリー愛ランドユー」および「五鹿山キャンプ場」は駐車場が満車となるほどの賑わいを見せ、その後

下田議員



観光施設の老朽化対策・利便性向上策は



安全確保を最優先とし、計画的に実施する



下田議員

のチューリップフェアも同様に盛況であった。そこで2点お聞きしたい。

①ファミリー愛ランドユーおよび五鹿山キャンプ場の老朽化対策について、施設内の案内看板や遊具の塗装剥離等安全性を確保しつつも来場者の印象を損ねかねないが、今後の改修・リニューアルに向けて、思い切った予算配分や長期的な安全管理計画をどの様に考えているのか。

②チューリップ公園の駐車場運営と利用しやすさの改善について、混雑時に上湧別学園敷地を臨時駐車場としているが、国道を横断しなければならず、高齢者、小さなお子様連れ、身体の不自由な方々への安全性・利便性に懸念がある。

次年度以降、優先駐車スペースの確保や安全な横断歩道の設置や工夫など、具体的な改善策の予定はあるのか。



刈田町長

①「ファミリー愛ランドユー」の遊具などの老朽化対策は、安全確保を最優先として点検・修繕を計画的に実施し、遊具の劣化や塗装剥離は可能な限り速やかに修繕等を行っている。

ファミリー愛ランドユーの遊具はレトロな雰囲気小さなお子様やご家族連れに親しまれており、今後も可能な限り修繕を行いながら施設運営に努めてまいります。

道の駅愛ランド湧別も利用者ニーズに的確に対応できるよう、施設の改修やリニューアルの必要性を認識しており、今後の施設整備に向け、検討を進めます。

「五鹿山キャンプ場」はログキャビンなどの修繕を年次的に進めており、今後は利用者ニーズである衛生環境を含めた施設改修についても取り組みを進めていく。

②現在チューリップ公園の駐車場は、第1・2駐車場と約450台分、臨時駐車場として上湧別学園グラウンド等で約940台分のスペースを

確保している。

また、公園内には身体障がい者専用区画として21台分を設けて運用している。

しかし、最盛期には多くの来園者が集中するため、臨時駐車場の開設により、国道横断が必要となる。

安全対策として警備員の配置による誘導等を行っているが、高齢者や小さなお子様連れ、身体の不自由な方の移動に一定の負担をかけてしまっている。

来年度以降は、優先駐車スペースの更なる確保に加え、引き続き、国道横断時の安全確保に向けた誘導を行うなど、環境整備に取り組んでいく。

【再質問】

下田議員

愛ランドユー遊具の老朽化対策について、定期点検時に発見された劣化場所も、直ちに対応できるのか。

また、改修計画は今後検討とのことだが、年度ごとの改修箇所・予算規模など具体的に

スケジュール案はあるのか。

五鹿山公園ログキャンピングについて、過去3年間に実施した修繕内容と費用について後ほど掲示願いたい。

利用者ニーズの把握方法として、アンケート、利用実績の分析、ヒアリング等があるが、どのような方法で実施する考えか。

また、これまでに寄せられた具体的要望と、要望を踏まえた改修予定はあるのか。



刈田町長



刈田町長

愛ランドユーの維持補修計画は令和10年までの計画を立てており、点検を実施している。例年の予算規模では700万〜1300万円の範囲の中で、専門業者にお願いしながら安全対策を中心に修繕を行ない、それに合わせて塗装等の点検も行っている。

改修計画について、愛ランドユーが整備されて40年が経過し、一番の問題はレストラン、売店、トイレの老朽化と認識している。

遊園地はそれなりの収益もあり経営できているが、レストラン等の部分が課題となっている。

これらは改築を考えなければ改善できない部分が多々あり、十分協議を重ねながら必要性・費用対効果も考えて方向性を出していかなければならない。

五鹿山公園については、面積が広いことから全体的な見直しも必要と考えており、どういった形を取るべきか議論しなければならぬ。TOM周辺のまちなか整備

も含めてキャンプ場の活用桜の管理等について検討していきたい。

ニーズ分析としては、トイレとシャワーなどの不足が言われており、公園全体のあり方として議論していかなければならない。

Q アライグマの駆除対策は

A 講習会の実施など捕獲従事者の増加に努める

関野議員

近年、当町でも外来野生動物(アライグマ)による農業被害等が報告されているが、農業被害金額の実態は。

また、町は研修会の講師招聘や箱わなを増やすなどの対応をしているが、私自身も地

域や町民からの狩猟要請が増加し苦慮している。

今後の農業被害等を抑えるためにも更なる対応が必要と考える。

今後の駆除対策の検討は。



関野議員

刈田町長

特定外来生物であるアライグマ等の野生鳥獣による農業被害の状況は、各農協を通じて報告を受けている。

令和6年度の被害報告では、自家用農作物が荒らされる被害が発生しているが、被害面積が小規模であることから、被害金額は無しとされている。

ほかにも乳牛の飼料袋が破れたなどの被害報告も受けているが、飼料廃棄となるまでの被害とはなっていない。

町の対策として、年々捕獲頭数が増加するアライグマに対しては、箱わなの所有数を増やし、繁殖期である春季の捕獲に力を入れている。

本年4月には湧別町農協において、湧別地域資源保全広域協定運営委員会の28名が技術講習会を受講され、現在捕獲を行っている。

昨年4月から5月の2ヶ月で5頭の捕獲であったが、本年は同時期に54頭を捕獲し、捕獲頭数が大幅に増加した。猟友会、捕獲に従事する農業関係者の皆様に深く感謝を申し上げる。

今後も講習会の実施など捕獲従事者の増加と被害の防止に努めていく。



【再質問】

関野議員

直近の湧別町の箱わなを利用して捕獲した頭数と、湧別町農協が実施している多面的支払交付金事業で実施している有害駆除の頭数について教えて欲しい。

また、4月には湧別町農協で町職員が講師となって安全講習が行われたが、アライグマを一掃するぐらいの形ではないと収まらないのではないのか。

箱わなの設置について予算の範囲内で実施していただきたい。

刈田町長

多面事業による4月、5月の捕獲数は26頭、6月は16日までで15頭となっている。

アライグマにはスイートコーン、カボチャ、イチゴなどが狙われやすく、猟友会等と協力しながら駆除を進めていきたい。



村川議員

Q 計画的な道路改修の実施を

A 自治会と協議しながら計画的に実施する

村川議員

町内の舗装道路が全体的に破損し、各地から苦情が出ている。

例えば東5号線の舗装改修が東9線から行われている

が、完成に約10年かかると聞いている。

サロマ湖道路も老朽化が進み、そのほかにも同じ状況の道路が数本あり、全町の改修を考えると多大な予算が必要となる。

新設の道路は総合計画にあるが、改修については起債で対応しており、1本の道路に10年もかかっては道路改修のめどが立たず、観光にも影響が出てくる。

町が安定財政のうちに町内道路の改修箇所を調査し、計画的に進めるべきでは。

刈田町長

町道はインフラ施設として重要な施設であり、誰もが安心して安全に利用できるよう、計画的に修繕や整備を行ってきた。

全町の道路補修や改修には多大な予算が必要となることから、破損部分の補修を行いながら道路の延命化に努めている。

町道の計画的な整備のほか、自治会等からの情報提供や道路パトロールなどにより

破損箇所の早期発見、早期修繕を行い、適正な管理を行っており、全面的な整備が必要なもの、有利な補助事業や起債等を活用し、財源の確保に努めている。

なお、東5号線道路の整備は計画で9年間の事業期間となっており、本年度が4年目になるが、計画期間内の整備完了に向けて努めていく。

【再質問】

村川議員

道路は住民の重要なインフラであり、整備に対し、現状では大変有利な過疎債を使っているが、道路に使う限度額はあるのか。またそのほかの有利な事業があるのか。

財政の安定している時に修理していかなければ後追いになるので、これらを踏まえそういう箇所をしっかりと調査して計画を立てて進めるべきではないか。

サロマ湖道路も傾斜がついており、東5号線改修後でないと改修できないということでは困る。

町長は安定財政と言うが、住民のインフラをしっかりとできてこそ安定財政と言えるのであって、基金を積んだから安定財政だという話ではない。

人口も減少するなか、財源は今はピークであり、思い切って整備するのが町長の大きな責任と課題だと思っている。

早急に現場を調査し、計画を立てて進めてもらいたい。

刈田町長

道路整備は総合計画を含め計画的に実施しており、自治会との協議においても、連絡をいただきながら毎年行っている。

各地域の配置しているスタップにその都度連絡が来ることになっており、現在のところ苦情等の連絡は入っていない。

起債の限度額はないが、過疎債には枠があり毎年変わるため、他の起債も活用しながら実施していく。

東5号線道路整備が終わらなければ、ほかの整備ができないということはなく、今後必要な道路については有利な交付金等を使いながら進めていく。

東5号線は段階的に1号ずつ進めているが、その他については財源が確保できればもっと早く修繕できる部分もあり、計画的に進めていきたいと考えている。

Q 旧学校施設の公売を検討しては

A まずは活用できるよう意見聴取・検討の場を設ける

小形議員

上湧別地区の小中学校は本年4月に義務教育学校になり、利用がなくなった学校施設の活用を考えていると思

うが、利用方法にある程度条件を付けたうえで、マイナズ入札を行い、公売にかける考え方もあると思う。

公共施設老朽化問題の打開策の一つになるのではない



小形議員

刈田町長

義務教育学校上湧別学園の開校により、中湧別小学校、上湧別小学校、開盛小学校、富美小学校の4校が廃校となった。

中湧別小学校は新庁舎等の整備事業においてグラウンドを活用して新庁舎を建設し、校舎も改修、リニューアルし

活用する計画であるが、その他の3校は今後町民等から幅広く意見を聞く機会および検討の場を設け、利活用の方向性を見いだしていきたいと考えており、本年度実施する地域力創造アドバイザー招聘事業において外部専門家を招聘し、検討する予定である。

予定価格をマイナスに設定し、解体後の利用条件をつけて一般競争入札を実施している自治体もあり、今後の検討の中で校舎を解体しての利活用といった方向性が出た場合には、一つの方法として考えていきたい。

【再質問】

小形議員

今後公共施設の統廃合を進めていく中で、廃止またはいらなくなった施設等の土地の利活用を考えるうえで、新しい考え方と思っている。

深谷市では体育館等の施設に住宅を建てたい人達が共同でマイナス入札に参加するなど良い例になったとのことである。

廃止あるいは解体しなければならぬ場合の一つの考え方になるのでは。

刈田町長

閉校後の小学校の活用は、閉校前から地域の皆様とも協議させていただいて、活用できるものであれば活用したいという私の考えもあり、今年いろいろな形を取りながら検討させていただきたい。

違う方法で使いたいという要望や、企業が来た場合はそれらも含め検討の一つとして提案をさせていただきたいという部分もあり、その中で解体後に活用したいというような話があれば、マイナス入札なり売買という方法もあるので、一番有利となる方法で進めていきたい。



町長の 行政報告

— 要約掲載 —

チューリップ フェアの結果

本年は低温が続き、5月1日のオープニングセレモニー当日に1品種も開花しておらず、非常に心配な開幕となりました。

その後開花が進み、有料入園は昨年より8日遅い、5月10日からとなりました。

5月12日以降は気温の高い日が続き、開花が急速に進んだことで、鑑賞期間は短くなりましたが、有料入園期間は5月27日まで、フェア自体は5月31日に閉幕しました。

フェア期間中の総入園者数は、5万6千人で、昨年から6千人の減少となり、減少の要因は開花遅れと燃油価格の高騰によるレジャー目的の遠出が減少していることが挙げ

られます。

入園料収入は、2410万円となり、昨年から480万円の減少となりました。

フェア中のイベント関係では、青年団体協議会・JAえんゆう青年部による催しや、町内小中高生による吹奏楽演奏会、さらに本年度4回目となる、湧別町チューリップ応援大使の半崎美子さんのトーク&ライブでは、吹奏楽合同バンドとのコラボレーションが実現し、約1000人の来園者の皆様と大変盛り上がる催しとなりました。



▶半崎美子さんの
トーク&ライブの様子

札幌湧別会総会出席

6月7日に札幌市において札幌湧別会の令和7年度総会並びに懇親会が開催され、39名の会員が出席した総会では、「ふるさと訪問」を9月23日の産業まつりに合わせて行うことに決まりました。

総会後の懇親会には東京湧別会の後藤会長、町からは村田議長をはじめ9名の議会議員・橋本商工会長・酒井観光協会長・町長・町職員が出席し、ふるさと湧別の懐かしい話題で会員同士の交流、親睦を深め、大いに盛り上がりました。

富山県砺波市長・ むかわ町長来訪

去る5月18日、国内最大級の「となみチューリップフェア」を開催している、富山県

砺波市・夏野市長と、胆振管内むかわ町・竹中町長が来町し、チューリップフェアを視察され、夏野市長から「広大

な畑を生かしたチューリップの見せ方が湧別の魅力」との感想が話されました。

チューリップフェアは来年40回目の開催と記念の年を迎えることから、「砺波市産球根の砺波市コーナー」設置へ「協力します」と応じていただきました。

カナダ・アルバータ州 ホワイトコート町訪問

北海道とカナダ・アルバータ州が姉妹提携45周年の記念事業をアルバータ州エドモントン市において開催される運びとなり、北海道および北海道議会訪問団として、アルバータ州ホワイトコート町と友好関係にある本町も参加し、姉妹都市会議の席上において、私からホワイトコート町との25年以上に及ぶ交流経過を報告いたしました。

記念事業終了後、2年ぶりにホワイトコート町を訪問し、議会表敬訪問や歓迎夕食会にご招待いただき、帰町しました。

包括連携協定の締結

去る6月13日、株式会社OKULAB(オクラボ)様との間に、未来につながるまちづくり等を目的に包括連携協定を締結しました。

株式会社OKULAB様は全国に250店舗以上、近隣では清水町でコインランドリーを展開しています。

現在、本町では、地域力創造アドバイザーを招聘し、文化センターTOM周辺の活性化、まちなか賑わいの創出に關して検討を重ねています。そのひとつのパーツとして湧別高校学生寮の南側に、コインランドリーの整備を進めており、同社のノウハウをお借りして官民連携による施設整備を進めてまいります。

令和6年度建設工事等の 入札結果

総体で112件の入札執行があり、平均落札率は96.44%となりました。

令和7年 第3回臨時会

令和7年5月12日開会
～税条例改正を可決～

第3回臨時会が5月12日に開会し、町長から議案7件が提出され、審議しました。

令和6年度一般会計補正 予算専決処分の承認

令和6年度一般会計補正予算の専決処分の承認が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。

◇一般会計
・寄附金としていただいた570万円のうち、財源調整により予算額に250万円を追加し、総額108億8447万円となりました。

また、年度内に納入となった公用車購入費の繰越明許費を廃止しました。

湧別町税条例の 一部改正

地方税法等の一部改正等に伴い、特定親族特別控除の創設や新基準原付に係る種別割区分の追加などに対応するための条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。

和解および損害賠償額の決定

漏水により陥没した舗道に前輪が落ち、車両が破損した事故に対する和解と損害賠償額について、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。

和解 町過失割合10割
損害賠償額 36万円

工事の請負契約

工事の請負契約4件について、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。

○建築主体工事(芭露保育所)
契約金額 4億3670万円
契約先 株式会社西村組

○電気設備工事(芭露保育所)
契約金額 8580万円
契約先 工藤・為廣・児玉

○機械設備工事(芭露保育所)
契約金額 8800万円
契約先 天内・吉田経常建設

○防災行政無線等整備工事
契約金額 1億9118万円
契約先 橋本・カリヤ特定

建設工事共同企業体
※金額はいずれも
1万円未満切捨て



▶建て替えが予定されている芭露保育所での運動会の様子

町長の 行政報告

— 要約掲載 —

寄附の採納

企業版ふるさと納税として、去る3月6日に遠軽町の株式会社渡辺組代表取締役渡辺勇喜様より300万円、また、去る3月12日に東京都の有限会社アクアテック代表取締役 大和田健斗様より、衛生WiFi台、1097万8千円相当のご寄附の申出があり、有り難く受納いたしました。

なお令和6年度の企業版ふるさと納税は、現金寄附が9件で570万円、物品寄附が2件で1434万6千円相当でありました。

また、指定寄付につきまして、去る3月10日、遠軽町の遠軽信用金庫 理事長 市川裕記様よりeスポーツ事業へ

の活用として200万円、去る4月3日、錦町の株式会社中川組 代表取締役 森光弘様より子育て支援として100万円のご寄附の申出があり、有り難く受納いたしました。

冷凍帆立貝柱の寄贈

去る4月1日、曙町の株式会社寺本商店様より今年も冷凍帆立貝柱350kgのご寄贈いただきました。

年間を通して給食に使用することにより、児童生徒が地の産業に関する関心を深め自然の恵みの大切さを感じる重要な食育の機会となっております。

地域の素晴らしい食材を30年以上ご寄贈いただき、心から感謝を申し上げます。



令和6年度ふるさと納税 寄附採納実績

寄附件数は3464件減の4687件、寄附金額は3380万3200円減の9041万3100円となりました。

物価等の高騰による日用品等の需要の高まりなどにより、寄附が減少したものと推察しています。

今後は寄附サイトの追加や広告等PRの強化、返礼品提供事業者との更なる連携強化を図り、本町並びに地場産品の魅力を全国に発信していきます。

住民訴訟の状況

1件目、特別多数議決として採決するまで、新庁舎等整備事業設計業務委託の予算の執行差し止めを求められた差止請求事件について、去る4月15日に札幌高等裁判所において控訴棄却の判決が言い渡されました。

町の主張が全面的に認められましたが、控訴人は上告手続を行った旨、弁護士より連絡がありました。

2件目、非木造家屋の固定資産税に過納付があるとして損害賠償の支払いを求められた損害賠償請求について、去る4月21日に弁護士による口頭弁論が行われ、6月30日に判決が言い渡されることとなりました。

湧別町立上湧別学園開校

義務教育学校「上湧別学園」が4月1日付で設置されたことに伴い、4月7日に入学式、4月19日に開校記念式典が開催されました。

開校記念式典は、児童生徒222名、保護者、武部文部科学副大臣等の来賓など約460人の出席のもと挙行されました。

保護者や地域住民の皆様で組織されました上湧別地区義務教育学校開設準備委員会のご尽力に深く感謝を申し上げます。

優先株の全額償還

町が所有していた北海道銀行の優先株について、全額償還されました。

取得後、本町が受けた配当金の総額は、3430万9千円となります。

ゆうゆう厚生クリニック 医師の赴任

6月末に退職される桂敦史院長の後任として、中川雄太医師が5月1日から院長代行として着任し、7月1日付で新院長に就任される予定となっております。

中川医師の専門は、循環器内科のほか総合内科というところで、地域に根差したかかりつけの先生として、医療を提供してくださるものと期待しております。



次の議会定例会は、9月16日から開会予定！

主な内容は、議案審議と一般質問です。
詳しくは、今後のかわらばんや町ホームページでお知らせします。



長年の功績をたたえて

～元湧別町議会副議長 山本栄子さんが自治功勞表彰を受賞～

議員として15年以上在籍し、地方自治の振興と発展に尽くされたとして、元湧別町議会副議長 山本栄子さんが全国町村議会議長会ならびに北海道町村議会議長会より自治功勞表彰を受賞されました。

常任委員会の活動

令和7年第1回定例会（3月開会）のあとから令和7年第2回定例会（6月開会）までの間に
おける常任委員会の活動をお知らせします。

総務厚生常任委員会

第4回総務厚生常任委員会

〔5月27日〕

● 所管事務調査

「健康診断事業の実施状況について」、「保健福祉センターの利用状況について」を調査しました。

湧別町の健診受診率は49.8%で同規模市町村の中でも高い方であり、特に膵臓、胆のう、肝臓ガンの検査である腹部超音波は受診率が高いとのことでした。

今後も健診の周知、推奨を勧めるよう依頼しました。

保健福祉センターは現在健診に特化した利用となっておりますが、非常に使いやすい施設であることから、もっと活用を図って欲しいと指摘しました。

● 次回の所管事務調査項目

「湧別町の財政状況と今後の見通しについて」調査します。



▶ 総務厚生常任委員会

産業文教常任委員会

第2回産業文教常任委員

〔6月2日〕

● 所管事務調査

「義務教育学校（上湧別学園）の運営について」を現地調査も含め調査しました。

現地調査では、本年4月より開校となった上湧別学園を訪問し、早川校長より運営におけるグラウンドデザインや、開校までの事前準備等の説明を受け、また、生徒たちの様子などを見聞きすることで、学校運営が順調であることの確認ができました。



▶ 上湧別学園視察 産業文教常任委員会

● 次回の所管事務調査項目

「観光施設（ファミリー愛ランドユ-、水芭蕉群生地木道）の整備状況について」、「商工業振興事業（愛町購買事業）の実施状況について」調査します。



▲ファミリー愛ランドユ-

議会・各委員会には傍聴が可能です。

湧別町議会が開催する、議会（定例会年4回、臨時会随時）、全員協議会、委員会（議会運営委員会、総務厚生常任委員会、産業文教常任委員会、広報編集特別委員会など）は、傍聴できます。

新型コロナウイルス感染症対策など、以下の注意事項を確認のうえご参加ください。

- ・ 入口での手指消毒をお願いします。
- ・ 委員会については事前に議会事務局（01586-2-2130）に申し込みが必要です。

過去の議員の一般質問が、どう町政に反映されたか

あの質問どうなったべ？

議会での質問や意見がどのように反映されているのでしょうか

地場産品の掘り起こしについて



Q：議員（令和4年6月議会より）

産業間ネットワークや、町外メーカーとの連携により新しい商品化を進めたいとのことだが、どのような地場産品の掘り起こしを目指すのか。

A：町長

地域資源の付加価値をつけるため、産業間ネットワークの情報交換や、魅力ある町づくりスタートアップ応援事業を創設するなど、町外企業を巻き込んだ中で取り組む。



その後

上川大雪酒造と協議により日本酒造りをスタート。
産業間ネットワークが中心となりPRを実施。
酒販店が協力し、魅力ある町づくりスタートアップ応援事業を活用した事業を展開。

上川大雪酒造と、姉妹都市である新篠津村の協力により「特別純米酒・湧別」が完成

令和6年7月完成



海洋熟成実験の実施



海洋熟成酒



クラウドファンディングによる財源確保・PRなど、町内外にアピールを行っています

議会の活動

令和7年5月～7月

- 5月 1日(木) 2025ゆうべつチューリップフェアオープニングセレモニー
7日(水) 高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会総会(紋別市)
オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会総会(紋別市)
9日(金) 湧別町商工会通常総会
12日(月) 第4回議会運営委員会
第2回議会臨時会
14日(水) 特定非営利活動法人ポレポレゆうべつ総会
16日(金) 遠軽地区広域組合臨時会(遠軽町)
19日(月) オホーツク町村議会議長会定期総会(美幌町)
26日(月) オホーツク圏活性化期成会役員会、定期総会、石北本線・釧網本線合同部会(網走市)
27日(火) 全国町村議会議長会議長・副議長研修会(東京都)
高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会要望(網走市)
第4回総務厚生常任委員会
29日(木) 上湧別神社春季例大祭・上湧別開拓招魂祭
遠紋地区市町村議会議長会総会、議長・副議長・事務局長合同研修会(滝上町)
自衛隊協力会遠紋地区連合会監査(滝上町)
- 6月 2日(月) 第4回産業文教常任委員会
6日(金) サロマ湖開発期成会通常総会(北見市常呂町)
7日(土) 札幌湧別会総会及び懇親会(札幌市)
9日(月) 遠軽地区総合開発期成会要望活動(網走市)
10日(火) 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
12日(木) 第4回議会運営委員会
15日(日) 湧別町消防団春季消防演習
17日(火) 第2回議会定例会
22日(日) 自由民主党北海道第12選挙区支部政経セミナー(北見市)
23日(月) 遠軽地区総合開発期成会要望活動(～24日 札幌市)
26日(木) 遠軽地区広域組合臨時会(遠軽町)
ニュージーランド・セルウィン町訪問団対面式
27日(金) ニュージーランド・セルウィン町訪問団との記念植樹会、歓迎夕食会
- 7月 4日(金) レバンガ北海道関野剛平選手他来町歓迎会
6日(日) 第67回遠軽分会連合消防演習
7日(月) オホーツク圏活性化期成会農林水産専門委員会(北見市)
8日(火) 北海道町村議会議長会議員研修会(札幌市)
オホーツク湧別バイオガス株式会社バイオガスプラント竣工式
カナダ・ホワイトコート町訪問団歓迎夕食会
14日(月) オホーツク圏活性化期成会第2回役員会(北見市)
19日(土) 認定こども園みのり運動会
24日(木) 元湧別町議会議長渡邊正利氏湧別町名誉町民章贈呈式
26日(土) 遠紋地区市町村議会議長会議員研修会
30日(水) 高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会中央要望活動(～31日 東京都)
オホーツク圏活性化期成会中央要望活動(～31日 東京都)
第3回議会広報編集特別委員会



「活動支援に感謝」

野球スポーツ少年団 『湧別マリナーズ』 監督 **平田 弥さん**
ひらた わたる

このたび、わがチームは「高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会」全国大会へ、北海道代表として出場することになりました。創設50年の歴史のなかで、全国大会出場は15年ぶり2度目の快挙です。

私自身は我が子が湧別マリナーズに入団するのを機に、故・木戸周平監督のもと、子どもたちと共に白球を追いかける日々を過ごしました。今、私は木戸前監督の野球に対する情熱と子どもたちへの愛情を引き継ぎ、地域の方々と仲間たちと力を合わせて練習や試合を支える立場にあります。こう

して学童野球のバトンを受け継ぐことが出来たのも、野球の楽しさ・素晴らしさを教えてくださった木戸監督はじめ、育成会や職場・関係各位のご協力・ご支援あつてのことです。心より感謝申し上げます。

この投稿をご覧になるころには、全国大会の結果が出ていますが、少しでも良い報告ができるよう全力を尽くすのはもちろん、予選に参加したすべて

のチームに称賛されるような、熱い試合をお約束します。

湧別町におかれましては、大会参加に対しご支援をいただき感謝申し上げます。

今後も、野球を通じて地域の子どもたち・保護者・指導者とともに成長し続けるスポーツ少年団を目指し、活動してまいります。

これからも町・議会が丸となつて、子どもたちの育成に対し、変わらぬご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



▶ 北海道大会で優勝した湧別マリナーズ

第62号の表紙

8月3日、「第10回屯田七夕まつり」の様子です。

暑い日が続く中、屯田兵の行進から始まり、もちまき、玉入れ、ダンス、貝がら積み選手権、吹奏楽など、子どもたちが大活躍のイベントが次々開催されました。

eスポーツやこども園日、アスレチックなども大盛況で、大粒の汗を流しながら、笑い声と笑顔の絶えない一日となりました。



ゆうべつ町議会だより第62号

2025(令和7)年8月25日発行

発行/北海道湧別町議会

編集/議会広報編集特別委員会

委員長 村川 勝彦

副委員長 関野 一良

委員 加藤 政弘

委員 下田 英人

〒099-6592

北海道紋別郡湧別町

上湧別屯田市街地318番地

TEL01586-2-2130/FAX01586-2-2511

印刷/株岡田印刷 林印刷所